

IT活用によるモノづくり戦略

新規設置コース
Oアドバンスコース

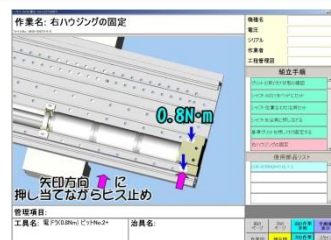
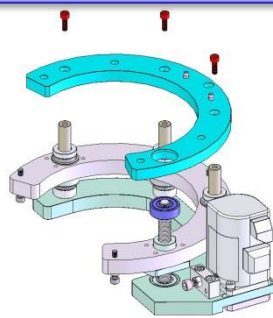
～経営者・管理監督者のためのデジタルモノづくり～

■研修内容

3D-CADに代表されるデジタルツールやITなしには、「市場も海外、競合の海外＝グローバル大競争時代」に勝ち残ることは不可能です。

「自らデジタルツールを使う」のではなく「デジタルツールを使える人を養成し、その能力を社内で十分に発揮してもらう」ことが経営者・管理監督者の役割です。そのためにはデジタルツール、ITの基礎知識を理解していなければなりません。

デジタルものづくりの狙いとその効果を解説すると共に、経営者・管理監督者の方々と議論する講座です。

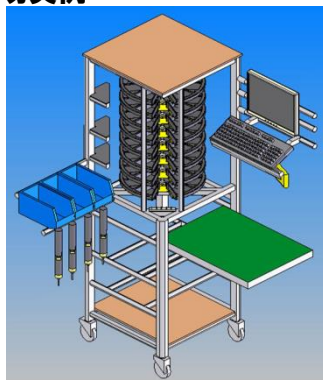
デジタルモックアップと
デジタルマニュアル3Dプリンタ
で作成した
樹脂製射出
成型型

概 要

- 日程: 2016年1月18日(月)
 ■時間: 10時～17時
 ■会場: 鳥取県建設技術センター(技術支援ホール)
 倉吉市福庭町2丁目23
 ■定員: 15名(先着順)
 ※定員を超える場合、同一企業人数は調整させていただく場合があります。
 ■対象者: 製造部門及び間接部門のリーダークラス以上の社員
 (経営者、管理監督者向け)
 ■受講料: 1,000円(一人当たり、テキスト代含む)
 《お申込み手続き》
 ①受講者: 別添の「平成27年度鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト
 標準高度化教育 受講申込書」に記入し、下記連絡先にファ
 クシミリで申し込んでください。
 ②事務局: 受講通知を受講者様宛に、申込書に記載のメールアドレスへ
 送信します。
 ③受講料: セミナー当日持参してください。
 《キャンセルについて》
 受講料受領後に、受講者様のご都合により、受講途中で出席出来な
 くなった場合は、お支払いいただいた受講料の返金は致しかねますので、
 予めご了承ください。
 ■講習時に用意いただくもの: 筆記用具
 ■主催: 鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会
 《連絡先》鳥取県立産業人材育成センター(倉吉校内)
 電話: 0858-27-5333 ファクシミリ: 0858-27-5334
 電子メール: sangyoujinzai-center@pref.tottori.jp

プログラム

1. 日本のものづくりの現状
2. なぜ二次元に固執するの?
3. 「正しいフロントローディング」と「全社的製品開発」
の考え方
4. 全社的製品開発の実例
5. 「生産システム」を考える
6. 「デジタルものづくり」の考え方
7. 「デジタルものづくり」成功実例
8. 工場長の役割
9. 注目の最新技術
10. 3D一気通貫ものづくり



デジタル屋台生産システム

講師プロフィール

【関 伸一(せき しんいち)】

関ものづくり研究所 代表

【略歴】

専門である機械工学及び統計学を基盤として、品質向上を切り口に現場の改善を中心とした業務に携わって参りました。ローランドDG社では、改善業務の集大成として考案した「デジタル屋台生産システム」で、大型インクジェットプリンタ等の大規模アセンブリを完全一人完結組立を行ない、品質/生産性/作業者のモチベーション向上をすべて実現。多くのものづくり企業やメディアに称賛され、勤務先の業績向上に貢献しました。

ISO9001/14001のマネジメントシステムにも精通し、実務改善に寄与するマネジメントシステムの構築に精力的に取り組み、その延長線として労働安全衛生を含むリスクマネジメントシステムの構築も成し遂げました。関ものづくり研究所代表。静岡大学工学部客員教授。

【著作】・日経BP社「日経ものづくり」誌「ものづくり塾製造コース」連載など

